兵庫県立がんセンター

頭頸部外科

指導担当医（役職）

平山　裕次（頭頸部外科部長）

実習概要

実習コース

２週間コース・４週間コースどちらも可

概要

頭頸部外科の主治医団の一員として診療に参加します。実際に患者を受け持ち、毎日、医療面接と身体診察を行います。手術・外来・カンファレンスなど、すべてにおいて頭頸部外科医師と同じ行動をとっていただきます。

他科や他職種との関わりも豊富で、医療のマネジメントを学ぶ良い機会になり得るかもしれません。

実習スケジュール　2週間コース・4週間コースともに共通

外来は月・水・金曜午前、手術は火曜（全日）水曜（午後）木曜（全日）金曜（午後）です。

1. 主治医団としての実習：一日に数回、担当症例を診察し病状や所見の変化を把握する。
   ①手術や術前ICに参加する。　②各種検査に同行する。　③外来診察を見学する。　④カンファレンスや会議に参加する。
2. 総回診（月曜14時45分から）：形成外科医/歯科医も参加し、入院患者の治療内容を協議する。
3. 頭頸部術前カンファレンス（月曜16時から）：形成外科・歯科口腔外科・手術部との合同カンファレンス。手術手技の決定や高侵襲手術症例の相談をおこなう。
4. 粒子線カンファレンス（月曜17時から）：粒子線医療センター・神戸陽子線医療センターとの合同ウェブカンファレンス。治療の適応に関する相談をおこなう。
5. 頭頸部カンファレンス（月曜18時から）：放射線治療科・腫瘍内科・歯科口腔外科との合同カンファレンス。放射線治療や抗がん剤治療の可否や治療方針に関する相談をおこなう。

6.　嚥下カンファレンス・栄養カンファレンス・CPC：開催時に参加可能です。

学生へのメッセージ

失って初めて気付く大切なことがあります。

食べる・味わう・話す・見る・笑う、日常においては極めて当たり前のことが頭頸部領域のがん治療では損なわれていきます。

単に治すだけではない、悲喜こもごもの全人的な関わりが必要なのが頭頸部外科の特徴と感じています。

多職種がどのように治療に関わっていくのかを含めて、医療の裏側を覗きたい人に向いているかもしれません。